

## 統合科目

## 臨床検査法

《担当者名》 歯学部教授 / 高橋 伸彦 歯学部准教授 / 大村 一将

## 【概要】

実診療で遭遇する様々な臨床検査に関する知識の確認を行うと共に、国家試験合格に必要な臨床検査の知識をまとめ国試問題の解き方の習熟する。

## 【全体目的】

臨床検査医学を通じて歯科衛生士として最低限必要な医療知識を習得する。

## 【学修目標】

国試頻出問題を十分に理解し、どのような応用的問題が出されても解答できることを目標とする。  
各種検査法の意義、実施方法、正常値等についてとくに取り上げたものについては充分把握すること。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	歯科診療で必須の生体検査について	脈拍・体温・血圧などの検査の仕方、検査結果の解釈について理解する。 国家試験、模擬試験の既出問題で知識を再確認する。	大村 一将
2	医療知識として必要な臨床検査について(1)	糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の検査の仕方と結果の解釈、感染症や肝臓・腎臓の検査の仕方と結果の解釈を理解する。 国家試験、模擬試験の既出問題で知識を再確認する。	高橋 伸彦
3	医療知識として必要な臨床検査について(2)	血液検査の仕方と貧血検査の結果の解釈、アレルギー・膠原病の検査の仕方と結果の解釈を理解する。 国家試験、模擬試験の既出問題で知識を再確認する。	大村 一将

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

卒業試験 100%

## 【教科書】

最新歯科衛生士教本「臨床検査」 医歯薬出版株式会社

## 【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について確認しておく。(20分)  
授業ごとに実施した内容を元に復習をする。(40分)

## 【実務経験】

高橋 伸彦(医師)、大村 一将(医師)

## 【実務経験を活かした教育内容】

内科医として医療機関での実務経験を活かし、症状から診断・治療に向かう流れの中で、歯科診療における臨床検査の適切な利用法について役立つ講義を行う。